

新設小学校の設計について

本市では、「第2期教育計画はばたき」において、「明日の八潮を担う人づくり～「共生・協働」「安全・安心」を基盤として～」を基本理念とし、基本目標として、「望ましい学校教育環境づくり」、「安全・安心な教育環境づくり」を掲げています。

また、「新設小学校建設基本構想・基本計画（令和3年3月八潮市教育委員会）」では、以下の5つの「施設に求められる機能や性能等に関するコンセプト」が定められています。

「施設に求められる機能や性能等に関するコンセプト」

- (1) 安全で快適な学校生活環境
- (2) 多様な学習内容・学習形態に対応する教育環境
- (3) 立地条件に即した環境整備
- (4) 地域・防災への配慮
- (5) 環境への配慮

さらに、文部科学省から公表された「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について（文部科学省）」では、以下の「5つの姿の方向性」が示されています。

「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方（5つの姿の方向性）」

- （学び） 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向け、柔軟で創造的な学習空間を実現
- （生活） 新しい生活様式を踏まえ、健やかな学習・生活空間を実現
- （共創） 地域や社会と連携・協働し、ともに創造する共創空間を実現
- （安全） 子供たちの生命を守り抜く、安全・安心な教育環境の実現
- （環境） 脱炭素社会の実現に貢献する、持続可能な教育環境を実現

これらの考え方を踏まえ、新設小学校については、次ページのとおり『キャッチコピー（メインコンセプト）』と、5つの『設計方針』を定めました。

新設小学校の設計にあたっては、これらの設計方針に基づき、市内初の新たな取り組みとなる「オープンスペース」などの多様な学習内容に対応する環境の整備や、光庭・吹抜けによる自然採光・自然通風を積極的に取り入れるなど、快適かつ環境に配慮した建物となるよう設計を行いました。

《新設校のキャッチコピー（メインコンセプト）》
「ひと・自然にやさしい、光と風にあふれる開かれた学び舎」

設計方針1 多様な学習内容・学習形態に対応する教育環境

- ① 教育方法の変化に対応する柔軟・可変性のある空間構成（教室の多連引き戸、移動式ロッカー、ゆとりのある教室前廊下、オープンスペースの設置）
- ② 屋外環境やテラス等の半屋外空間の充実により、学校全体を学びの場とする
- ③ 多様な学習活動に対応可能な大階段・多目的スペース、オープンスペース、小空間の充実
- ④ 図書室とコンピュータ教室を組み合わせた「情報センター」を計画

設計方針2 安全で快適な学校生活環境

- ① 衛生的な環境の整備（体育館の空調、全熱交換器の導入、自然換気等による感染症対策、自動洗浄などの非接触化）
- ② 建物全体のバリアフリー化（段差解消のためのスロープ、エレベータの設置やユニバーサルデザインに基づくサイン計画や材料選定）

設計方針3 地域・立地条件に配慮した環境整備

- ① 周辺の住宅等への影響（日影、風塵、音）に配慮した配置計画
- ② 隣接する中学校と連携可能な計画（中学校からの動線確保、はばたきルーム（仮）の設置）
- ③ 地域の人たちと連携・協働する共創空間の創出（エントランスホールをイベント広場として活用）

設計方針4 防災・防犯への配慮

- ① 避難所機能の強化（体育館冷暖房、Wifi、防災物資の備蓄、非常用発電による電力供給、建物1階レベルの底上げ、各種設備機器の位置配慮（水害対策））
- ② 校舎・体育館の耐震性能の確保（非構造部材や工作物を含む）
- ③ 校務センター及び主事室等からの「人の目」による監視性の確保
- ④ 機械警備やフェンスによる物理的な境界の構築

設計方針5 環境への配慮

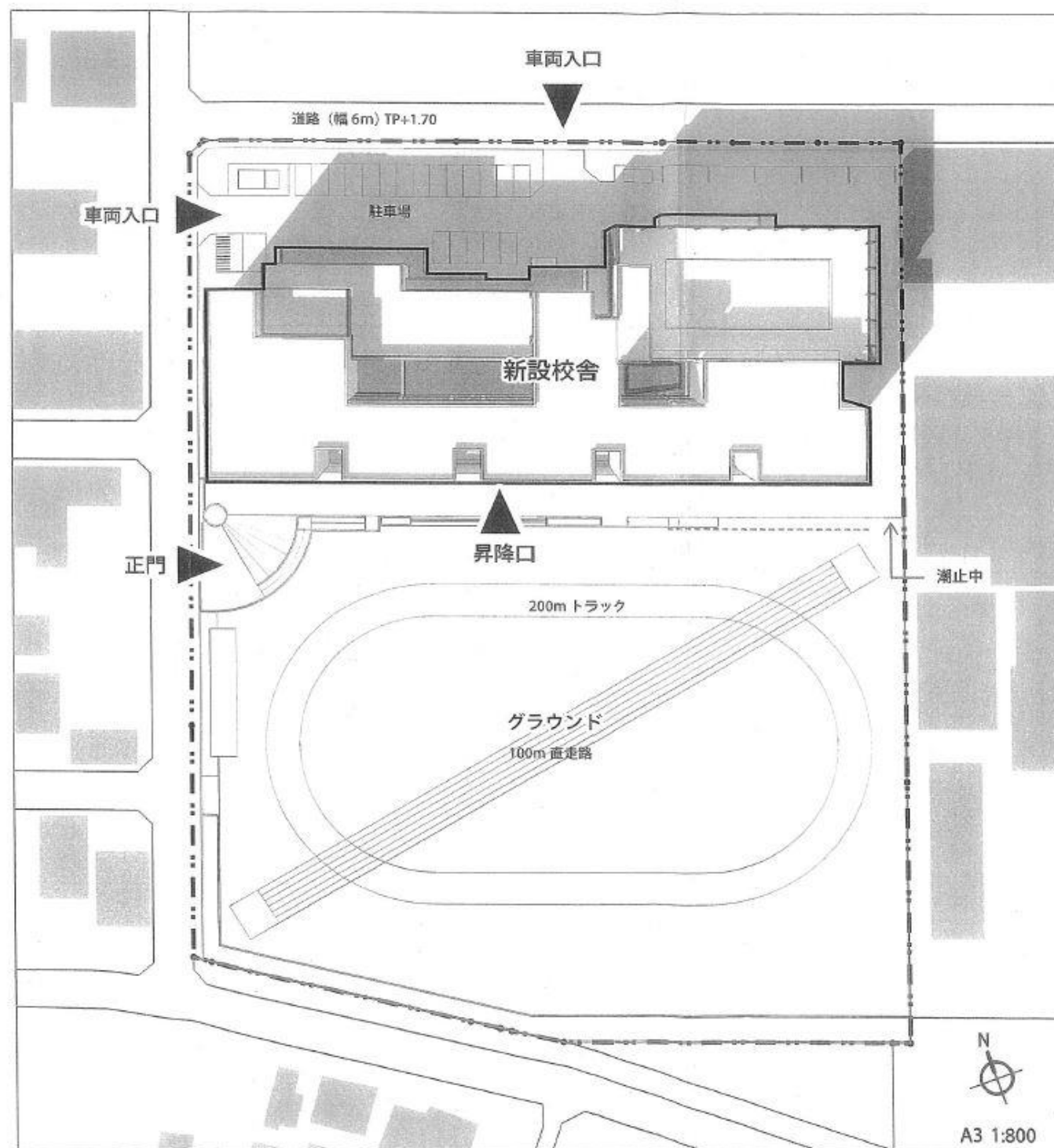
- ① 省エネルギー化（エコスクールを目指したつくり）、再生可能エネルギー（太陽光）の利用
- ② 木材利用の推進（内装や家具の木質化、県産材の利用）

八潮市新設小学校建設用地
案内・配置図

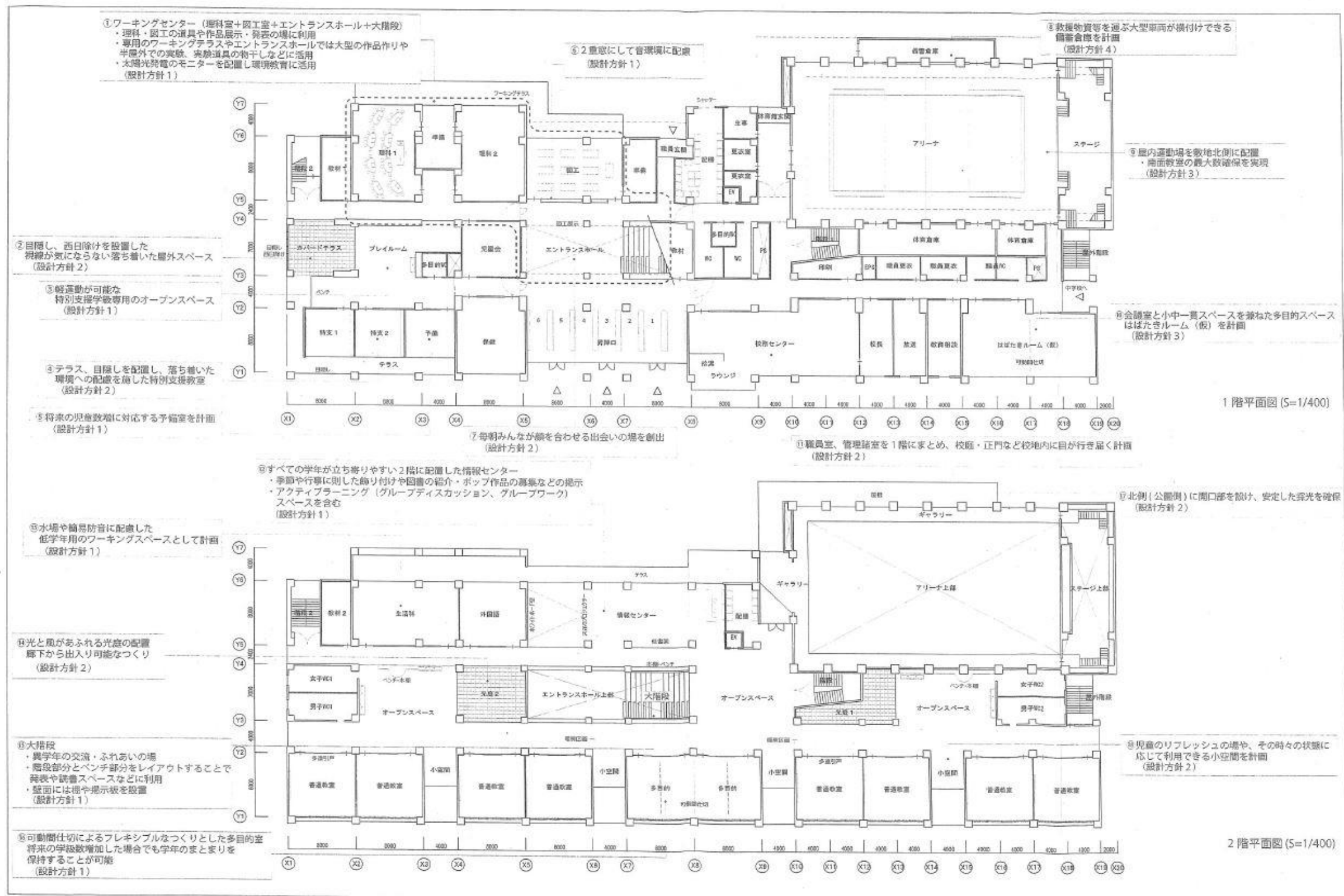


八潮南部西一体型特定土地区画整理事業
144 街区 1,2,3,4,7,8,16,17 画地

案内図



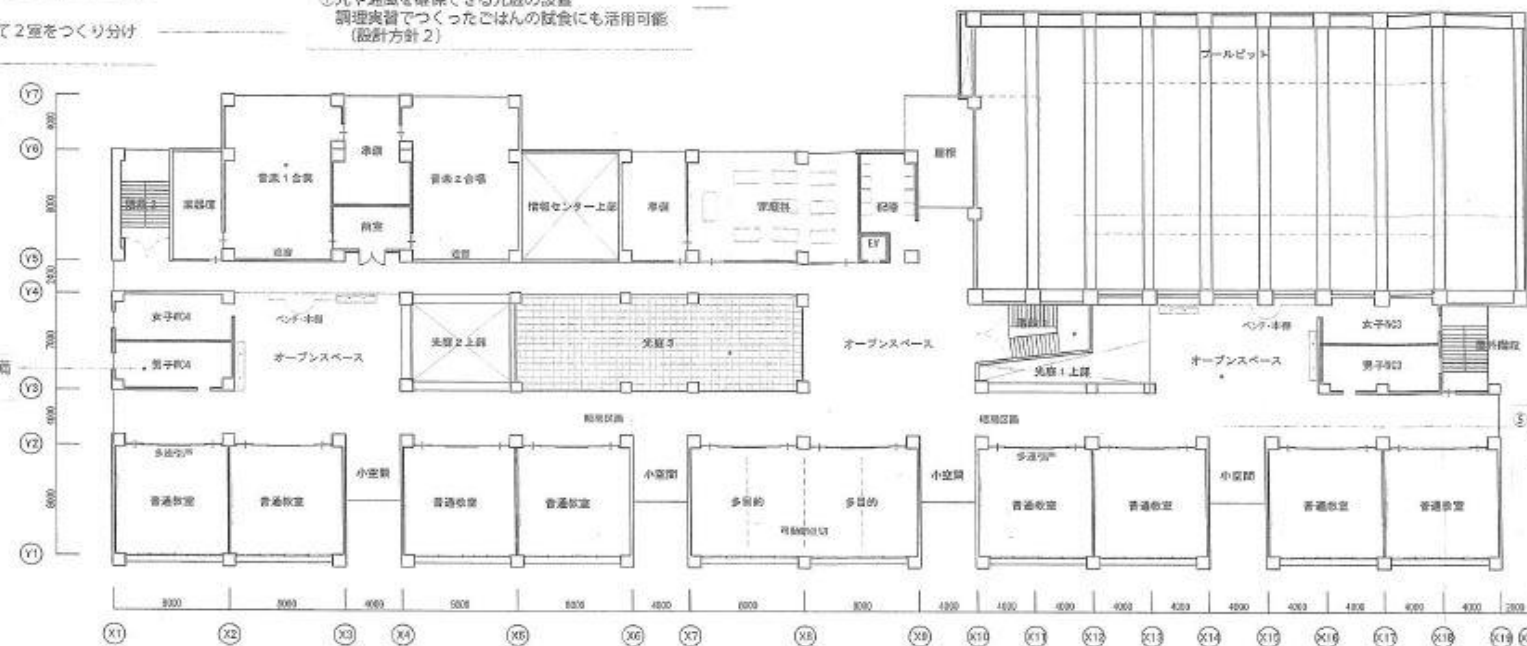
配置計画図



②音環境を考慮して前室を設けた音楽室
合奏用・合奏用、全学年利用への対応として2室をつくり分け
(設計方針1)

①光や通風を確保できる光庭の設置
調理実習でつくったごはんの試食にも活用可能
(設計方針2)

③外壁に面した明るく・衛生的なトイレの整備
(設計方針2)

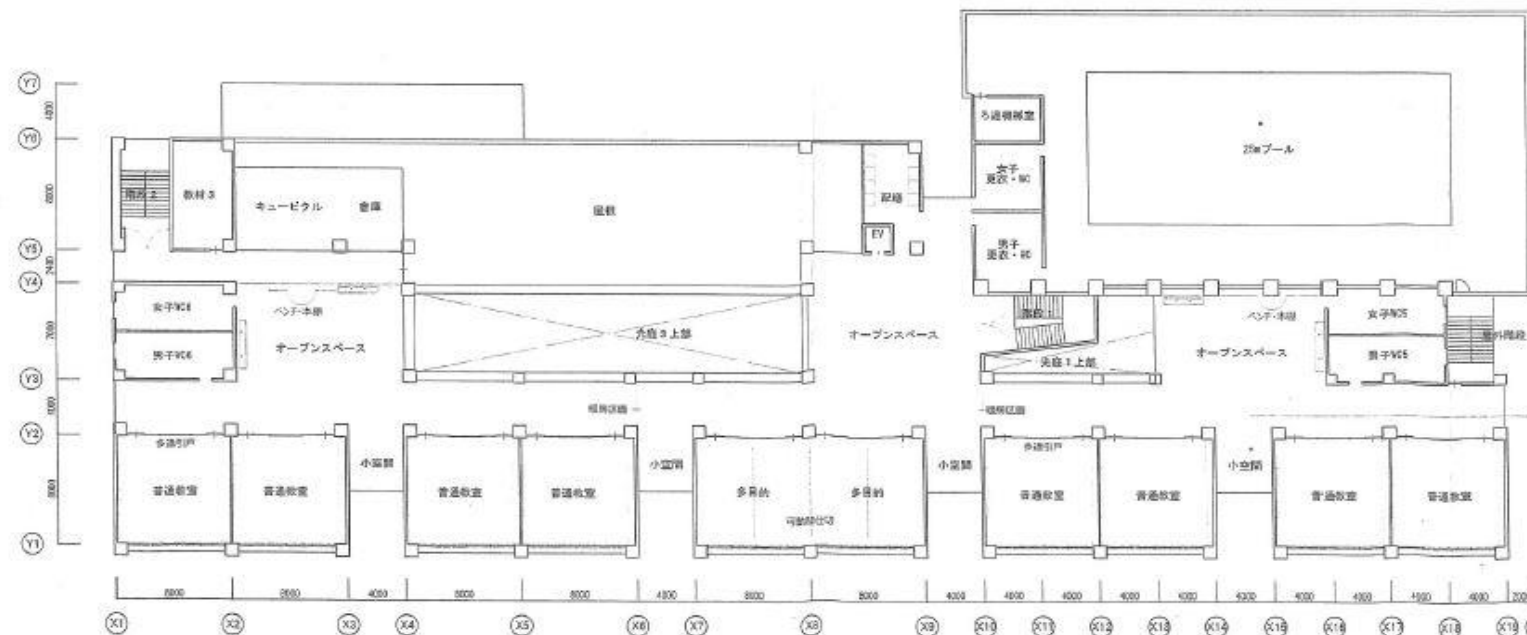


④職員移動にも配慮した校舎中央に縦通階段を設置
(設計方針2)

⑤オープンスペース
・各学年専用の光と風を感じることができるスペース
・教室と廊下の間仕切りは引き戸により開放可能
隣のクラスとの合同学習への展開など将来の学習内容・
方法の変化に柔軟に対応できる計画
(設計方針1)

3階平面図 (S=1/400)

⑥屋内運動場上部に屋上プールを設置
(設計方針4)



⑦普通教室に隣接し、少人数やグループ学習等
多様な授業の展開が可能
(設計方針2)

4階平面図 (S=1/400)

<「八潮市立大曽根小学校」を紹介します!!>

★★★めざす学校像★★★



輝く笑顔と夢いっぱいの大曽根小学校



経営の基本方針

- 学力・体力の向上と豊かな心の育成
- 安心・安全な学校
- 保護者・地域との連携協力
- 教育公務員としての職責の遂行

学校教育目標

- 進んで学びとる子（かしこく）
- 仲よく助け合う子（やさしく）
- 体を鍛える子（たくましく）

めざす児童像

- 意欲的に学び、自分の考えを豊かに表現する子
- 相手の気持ちを考え、励まし合って活動する子
- 進んで運動し、めあてに向かって粘り強く取り組む子

今年度の取組の重点…5つあります!!

② 心と体が育つ学校

- 道徳教育、体育授業の充実
- 「命の授業」の実施
- 縦割り活動の実施
- あいさつの励行
- 「ありがとう集会」の実施

今年度の取組
いちばんの重点

① 学力がつく学校

- 授業の工夫
「大曽根スタンダード」による授業実践
→考える、表現する、習得する時間の確保
・「伝えるグーチョキパー」の実践
・「トリオ学習」の工夫
・「書き込むノート」の実施
・振り返りの視点「こまつな」の実践
- 「学習の十力条」の徹底
→学び方を習得する
- 「レベルアップタイム」の充実
→学習の習熟を図る
- ICTを活用した学びの研究・実践

③ 安心できる学校

- 防災、健康、安全に関する教育
・様々な想定を考えた「避難訓練」
- 教室環境、清掃活動の充実
・「もくもく清掃」の実施
- 見守り隊による登下校支援

⑤ 小中一貫教育に
取り組む学校

- 小中合同教職員研修会の実施
- 小から中、中から小への授業参観の実施
- 小中合同保健委員会の開催
- ジョイント教室の実施

④ 信頼できる学校

- 学校運営協議会の実施
- PTA、家庭、地域との連携
→新組織「PJC」の発足、始動
- 適切な諸表簿の管理と予算の執行

【令和4年度 学力テストの結果】

令和4年度 埼玉県・学力テスト			
正答率の結果 (単位: %)			
国語	4年生	5年生	6年生
埼玉県			
八潮市			
本校 (県との差)			

算数			
4年生	5年生	6年生	
埼玉県			
八潮市			
本校 (県との差)			

令和4年度 全国・学力テスト	
正答率の結果 (単位: %)	
国語	6年生
全国	
埼玉県	
本校 (全国との差)	

算数	
6年生	
全国	
埼玉県	
本校 (全国との差)	

理科	
6年生	
全国	
埼玉県	
本校 (全国との差)	



第2回 八潮市学校教育審議会資料

令和5年7月12日

八潮市立大瀬小学校

1. 学校の概要

- 学級数 27学級(通常学級25、知的1、自閉・情緒1)
- 児童数 803名(令和5年7月11日現在)
- 教職員数 県費負担教職員41名(教科指導充実加配1名)
市費職員5名
(学力向上指導員1名、少人数補助教員1名、介助員2名、語学指導補助員1名)



2. 児童数・学級数(令和5年7月11日現在)

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	合計
児童数	155	152	113	124	112	137	12	803
学級数	5	5	4	4	3	4	2	27

※児童数の増加に伴い、令和6年度には増築校舎(メディアセンター:図書室)が完成する予定である。令和8年度には新設小学校開校に伴う児童数の減少により、24学級まで減少するものの、その後再び増加し、令和11年度にピークを迎え30学級となる見込みである。

3. 教育活動の特色

学校教育目標 よい子の育成 ～知・徳・体のバランス～
目指す学校像 安心・安全で潤いのある学校

(1) 学力向上



「21世紀型能力を育成する国語科教育の実践」

～一人一人の力を伸ばす『全員思考・全員発表・全員完了』の授業～



トリオ学習



コの字型の常態化



フリートーク



スクールタクトの活用



Google foams の活用



※おおぜくんタイム

※毎週2回、昼休みの20分間を活用し、国語の力を高めるための時間。

主に読解力を養うことを目的に、全児童がテキストを用いて解き、教師が解答を行う。

国語科の研究を中心に、誰一人取り残さない、児童主体の授業づくりを推進している。各学力調査においては高い水準にあり、また、確かな伸びも見られ、学力の定着が図られている。結果の分析（全職員）→学年での詳細な分析（4～6年）→管理職とのヒアリングを実施し、授業改善を図っている。

(2) 豊かな心



1年生を迎える会



なかよしブック（読み聞かせ）



もくもく掃除

全教育活動を通した3つの努力事項（①聴くことの指導②美しい言葉遣い③残姿を美しく）を徹底している。今年度は特に「残姿」を重点事項とし、自己点検（児童・教職員）を通して振り返っていく。

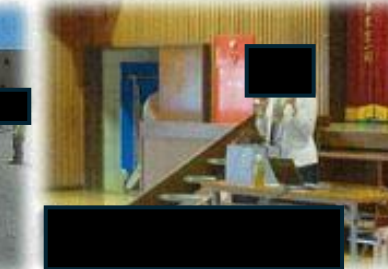
(3) 体力向上



全校運動（第4週火・水曜日）



8秒間走（体力パワーアップ週間）



いのちの学習（6年）

児童数の増加により、休み時間の外遊びを交代で行わざるを得ない現状であるが、外遊びの奨励、体育授業改善により、運動好きで粘り強く取り組む児童が多く見られる。薬物乱用教室やいのちの授業等、心と体を一体として捉える実践も充実させている。

1 学校教育目標 「自ら学び 考え 進んで実行」

- めざす学校像 「認め合い、学び合い、高め合う力を育成する潮止中」～生き生きと学ぶ生徒の姿～
- めざす生徒像 「自立・貢献をめざし、夢や志に羽ばたく潮止中生」
- めざす教師像 「情熱・専門性・人間力があり、信頼される教職員」

2 学校経営の基本理念

- (1) 潮止中に関わるすべての人との信頼が構築される学校づくり
- (2) 生徒、教職員が自らの成長を実感し「幸せを感じる」ことができる学校づくり
- (3) 人と人との「温かな関わり」を通して信頼関係の構築する学校づくり

3 小中一貫教育を通しての学校経営及び特徴

潮止中ブロック 研究主題「学力・体力の向上と豊かな心の育成する小中一貫教育の推進」

～主体的に学び、仲間とよりよく関わりあい、高め合う児童生徒の育成～

① 八潮スタンダードに則った授業の実践



② 学校行事の充実

本校の特徴の一つとして学校行事を通して生徒が大きく成長するところが挙げられる。特に体育祭、合唱祭、修学旅行など、実行委員を募り、生徒が企画し、生徒が創り上げる学校行事を実施している。各学級や学年、縦割りを通して、「認め合い、学び合い、高め合い」ながら様々な経験を通して、人間力の向上につなげている。また、終了後に振り返りを行い、高まった力を学校生活に生かし、質の高い学校生活の推進に取り組んでいる。



③ 生徒会・委員会・係活動の充実

生徒一人一人が潮止中に誇り持ち、学校をより良くする意識を持ちながらの活動の充実を推進している。生徒会専門委員会では、月の目標と目標を達成するための具体的な取組を明確にし、生徒たちにはやりきらせることを大切にしている。ここでは、リーダーシップの育成と協力する心・態度を育てることを通して、秩序ある学校と生徒一人一人の規範意識を高めることにもつながっている。

④ 部活動の充実

本校の部活動は、運動部9文化部6で水曜日を除く、週4日で活動しております。部活動の意義は人間形成にあり、潮止中では生徒一人一人が小さな目標設定し、成し遂げながら「やればできる」を実感してできることを大切にしている。その結果、自己肯定感の向上や困難さを乗り越えることができる逞しさの育成につながっている。

⑤ 潮止中学校の自慢

1学期に2年生の校長面接を実施した。本校の自慢について質問すると「元気なあいさつ」「友達と仲が良い」「行事を頑張りきる」「ルールが守れる」などの答えが返ってきた。小学校で身につけた習慣が中学校でもつながることができ、潮止中の伝統になっている。